

① 発表論文 (H.19.4～H.20.3)

(1) 欧文

1. Komamura K, Sasaki T, Hanatani A, Kim J, Hashimura K, Ishida Y, Ohkaru Y, Asayama K, Tanaka T, Ogai A, Nakatani T, Kitamura S, Kangawa K, Miyatake K, Kitakaze M. Heart-type fatty acid binding protein is a novel prognostic marker in patients with non-ischaemic dilated cardiomyopathy. Heart. 92:615-8, 2006
2. Sasaki T, Noda Y, Yasuoka Y, Irino A, Abe H, Adachi H, Hattori S, Kitada H, Morisawa D, Miyatake K. Comparison of the effects of telmisartan and olmesartan on home blood pressure, glucose, and lipid profiles in patients with hypertension, chronic heart failure and metabolic syndrome. Hypertens Res, in press
3. Komamura K, Matsuo H, Sasaki T: Comparison of the Initial Hospitalization Costs between the Patients Treated with Dobutamine and the Patients Treated with Amrinone for Acute Decompensated Heart Failure in a Japanese Institute. Value in Health 11 , S39-S42, 2008

(2) 邦文

1. 野田善樹、佐々木達哉、濱岡守、メタボリック症候群と慢性心不全を合併する高血圧患者に対するARBの効果～TelmisartanとOlmesartanの比較～、Therapeutic Research vol.28 no.6 2007

② 学会発表 (H.19.4～H.20.3)

(1) 海外 (国内開催の国際学会を含む)

1. The 3rd China-Japan Cardiovascular Forum, October 2007, Beijing, Susumu Hattori, Haruhiko Abe, Hiroaki Irino, Yoshinori Yasuoka, Tatsuya Sasaki, Kunio Miyatake, Recurrent Heart Failure Due to Myocardial Infiltration with Leukocyte in a 42-Year-Old Woman with Acute Lymphatic Leukemia

(2) 国内

1. 第18回日本心エコー図学会学術集会、2007年4月、軽井沢、安部晴彦、服部進、田中教雄、入野宏昭、安岡良典、赤松義樹、橋本克次、佐々木達哉、宮武邦夫、若年健常例における組織ドブラ法による左室拡張の諸指標に対する前負荷の影響
2. 第103回日本循環器学会近畿地方会、2007年6月大阪、安岡良典、北田博一、野

田善樹、服部進、足達英悟、松本専、安部晴彦、入野宏昭、赤松義樹、橋本克次、佐々木達哉、宮武邦夫、Tortuous RCAに対するStent留置後、no reflowになった一症例 どう考えどう対処するか？本症例から学ぶこと

3. 第103回日本循環器学会近畿地方会、2007年6月大阪、松本専、安部晴彦、入野宏昭、北田博一、野田善樹、服部進、足達英悟、安岡良典、赤松義樹、橋本克次、佐々木達哉、宮武邦夫、 $\beta$ 遮断薬および在宅酸素療法により著明に心機能が改善した左室緻密化障害の一例

4. 第103回日本循環器学会近畿地方会、2007年6月大阪、北田博一、安岡良典、安部晴彦、佐々木達哉、宮武邦夫、梅川成子、豊田耕三、田中教雄、平井康隆、吉田毅異なる2ヶ所の肺動静脈 fistula による高拍出性心不全を呈した一例

5. 第55回日本心臓病学会、2007年9月、千葉、服部進、安部晴彦、入野宏昭、山上保、北田博一、野田善樹、足達英悟、安岡良典、橋本克次、佐々木達哉、宮武邦夫、急性リンパ性白血病の病勢に伴い心機能が増悪・改善を繰り返した心筋炎の一例

6. 第55回日本心臓病学会、2007年9月、千葉、足達英悟、佐々木達哉、森澤大祐、北田博一、野田善樹、服部進、安部晴彦、入野宏昭、安岡良典、橋本克次、宮武邦夫、田中教雄、巨大冠動脈起始部を伴う右冠動脈右房瘻の診断に心エコーカラードプラ法が有用であった一例

7. 第11回日本心不全学会学術集会、2007年9月、千葉、Yoshiki Noda, Tatsuya Sasaki, Kunio Miyatake、Comparative Effects of Telmisartan Versus Olmesartan on Home Blood Pressure, and Glucose and Lipid Metabolism in Patients with Chronic Left Heart Failure with Metabolic Syndrome

8. 第21回日本冠疾患学会、2007年12月、京都、足達英悟、安部晴彦、森澤大祐、北田博一、野田善樹、服部進、入野宏昭、安岡良典、橋本克次、佐々木達哉、宮武邦夫、急性冠症候群におけるベアメタルステント晩期再狭窄の規定因子

9. 第104回日本循環器学会近畿地方会、2007年12月、京都、木村正道、安部晴彦、服部進、田中教雄、森澤大祐、北田博一、野田善樹、足達英悟、入野宏昭、安岡良典、佐々木達哉、宮武邦夫、好酸球増多症に伴う左室心筋障害のステロイド治療による改善を心エコーストレイン法によって観察できた一例

10. 第104回日本循環器学会近畿地方会、2007年12月、京都、野田善樹、安部晴彦、安岡良典、森澤大祐、北田博一、足達英悟、服部進、入野宏昭、佐々木達哉、宮武邦夫 非ホジキンリンパ腫（NHL）の化学療法中に左室流出路圧較差の増減を認めた閉塞性肥大型心筋症の1例

11. 第72回日本循環器学会総会、2008年3月福岡、Yoshinori Yasuoka, Haruhiko Abe, Daisuke Morisawa, Hirokazu Kitada, Susumu Hattori, Yoshiki Noda, Hidenori Adachi, Hiroaki Irino, Tatsuya Sasaki, Kunio Miyatake, Bachmann's Bundle Pacing Gets an Advantage over Right Atrial Appendage Pacing on Atrial Contraction Synchrony -A Strain Rate Imaging Study

12. 第72回日本循環器学会総会、2008年3月福岡、Hattori S, Abe H, Morisawa D, Kitada H, Adachi H, Noda Y, Irino H, Yasuoka Y, Sasaki T, Miyatake K, Influence of Preload Changes on Left Ventricular Diastolic Indexed Mediated by Upper Body Tilting Position

### ③ 研究会等での発表 (H.19.4～H.20.3)

1. 第1回MOCHOTサークル、2007年6月大阪、心不全の原因がA-Vshuntであった一例、北田博一、安岡良典、森澤大祐、足達英悟、野田善樹、服部進、入野宏昭、安部晴彦、佐々木達哉、宮武邦夫

2. 第1回MOCHOTサークル、2007年6月大阪、急性リンパ性白血病の病勢に伴い心不全が増悪・改善を繰り返した一例、服部進、安部晴彦、北田博一、安岡良典、森澤大祐、足達英悟、野田善樹、入野宏昭、佐々木達哉、宮武邦夫

3. 第1回KCVC、2007年6月大阪、巨大冠動脈起始部を伴う右冠動脈右房瘻の診断に心エコー、カラードプラ法が有用であった一例、足達英悟、安部晴彦、森澤大祐、北田博一、野田善樹、服部進、入野宏昭、安岡良典、橋本克次、佐々木達哉、宮武邦夫

4. 2007年度心臓部会、2007年8月大阪、両側の多発性肺動脈血栓塞栓症によるショック状態をPCPS+tPA静注にて救命し得、軽快退院した高齢女性の一例、足達英悟、佐々木達哉、森澤大祐、北田博一、野田善樹、服部進、安部晴彦、入野宏昭、安岡良典、宮武邦夫

5. 第2回MOCHOTサークル、2007年10月大阪、重症心不全の治療方針決定にPDE

Ⅲ阻害薬負荷試験が有用であった一例、北田博一、安岡良典、森澤大祐、足達英悟、野田善樹、服部進、入野宏昭、安部晴彦、佐々木達哉、宮武邦夫

6. 第2回MOCHOTサークル，2007年10月大阪，両側の多発性肺動脈血栓症によるショック状態をPCPS+tPA静注にて救命し得、軽快退院した高齢女性の一例、足達英悟、佐々木達哉、森澤大祐、北田博一、野田善樹、服部進、安部晴彦、入野宏昭、安岡良典、宮武邦夫

7. H・F Clinical Seminar，2007年11月、大阪、メタボリックシンドロームを合併する慢性心不全患者に対するARBの効果—TelmisartanとOlmesartanの比較、野田善樹、佐々木達哉、森澤大祐、北田博一、足達英悟、服部進、安部晴彦、入野宏昭、安岡良典、宮武邦夫

8. 第25回バイエリアハートカンファレンス，2007年12月大阪，両側の多発性肺動脈血栓症によるショック状態をPCPS+tPA静注にて救命し得、軽快退院した高齢女性の一例、足達英悟、佐々木達哉、森澤大祐、北田博一、野田善樹、服部進、安部晴彦、入野宏昭、安岡良典、宮武邦夫

9. 第3回MOCHOTサークル，2008年2月，右冠動脈からの良好な側副血行により血行動態が保たれたLMT梗塞の一例，北田博一、安岡良典、森澤大祐、足達英悟、野田善樹、服部進、入野宏昭、安部晴彦、佐々木達哉、宮武邦夫

10. 第3回MOCHOTサークル，2008年2月，検診にて発見された左冠動脈主幹部(LMT)高度狭窄の一例，服部進、佐々木達哉、森澤大祐、北田博一、野田善樹、足達英悟、安部晴彦、入野宏昭、安岡良典、宮武邦夫

11. 第2回KCVC，2008年2月大阪，検診にて発見された左冠動脈主幹部(LMT)高度狭窄の一例，服部進、佐々木達哉、森澤大祐、北田博一、野田善樹、足達英悟、安部晴彦、入野宏昭、安岡良典、宮武邦夫

12. 第2回KCVC，2008年2月大阪，右冠動脈からの良好な側副血行により血行動態が保たれたLMT梗塞の一例，北田博一、安岡良典、森澤大祐、足達英悟、野田善樹、服部進、入野宏昭、安部晴彦、佐々木達哉、宮武邦夫

13. 第2回KCVC（河内長野Cardiovascular Conference），2008年2月大阪，安岡良典，LMT梗塞の疫学・予後・治療

14. 第4回なにわ循環器診断治療研究会, 2008年3月大阪, 右冠動脈からの良好な側副血行により血行動態が保たれたLMT梗塞の一例～あなたならどうする? DES or BMS or CABG~, 北田博一、安岡良典、森澤大祐、足達英悟、野田善樹、服部進、入野宏昭、安部晴彦、佐々木達哉、宮武邦夫

④ 総説・著書数 (H.19.4～H.20.3)

(1) 欧文

(2) 邦文

1. 安岡良典、佐々木達哉, EBM循環器疾患の治療 2008-2009 c 急性心不全の治療 3 カテコラミンとイノダイレーターの使用分けにエビデンスはあるのか? P376-379, 2008年
2. 安部晴彦、佐々木達哉, 慢性心不全薬物治療の現状と今後の展望ーアンギオテンシンⅡ受容体遮断薬(ARB)、循環器科、62(5):409-415、2007年
3. 安部晴彦, 慢性心不全ーその他の治療ー、北風政史、加藤真帆人編集、循環器科レジデントハンドブック、中外医学社、p112-119、2007年
4. 安部晴彦、田中教雄、宮武邦夫, 成人の先天性心疾患と診断の進め方、月刊心エコー Vol8.No.4、分光堂、P318-329、2007年